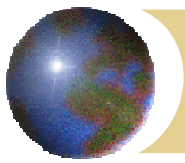


2005年3月期(第73期) 決算説明会

2005年5月17日

NEC

NECシステム建設



目次

- I．2005年3月期 決算概要
- II．2006年3月期 通期業績見通し
- III．中期目標
- IV．商号変更およびTNS承継について

Ⅰ．2005年3月期 決算概要

(単位：億円)

	04年3月期	05年3月期	増減率
受 注 高	1,961	2,074	5.8 %
売 上 高	1,940	1,986	2.4 %
営 業 利 益	44	48	8.9 %
経 常 利 益	43	47	8.6 %
当 期 純 利 益	5	12	144.0 %

市場動向

◆一般企業

- ・ ネットワーク関連投資は堅調
ただし、投資効果を慎重に見極める姿勢あり

◆通信業

- ・ IPサービス拡充への投資拡大（主に固定系）
- ・ 移動体基地局投資は回復基調へ

◆自治体・官公庁

- ・ e-Japan関連投資は期待ほどの高まりを見せず

事業環境

◆NI・サポートサービス分野

- ・効率化やコスト削減を目的としたネットワークのVoIP化などIP関連が堅調
- ・サポートサービスは引き続き堅調

◆通信工事分野

- ・ほぼ下げ止まり

【事業セグメント区分】

当期より事業セグメント区分を以下に変更。

NI(ネットワークインテグレーション)・サポートサービス事業
通信工事事業
機器等販売事業

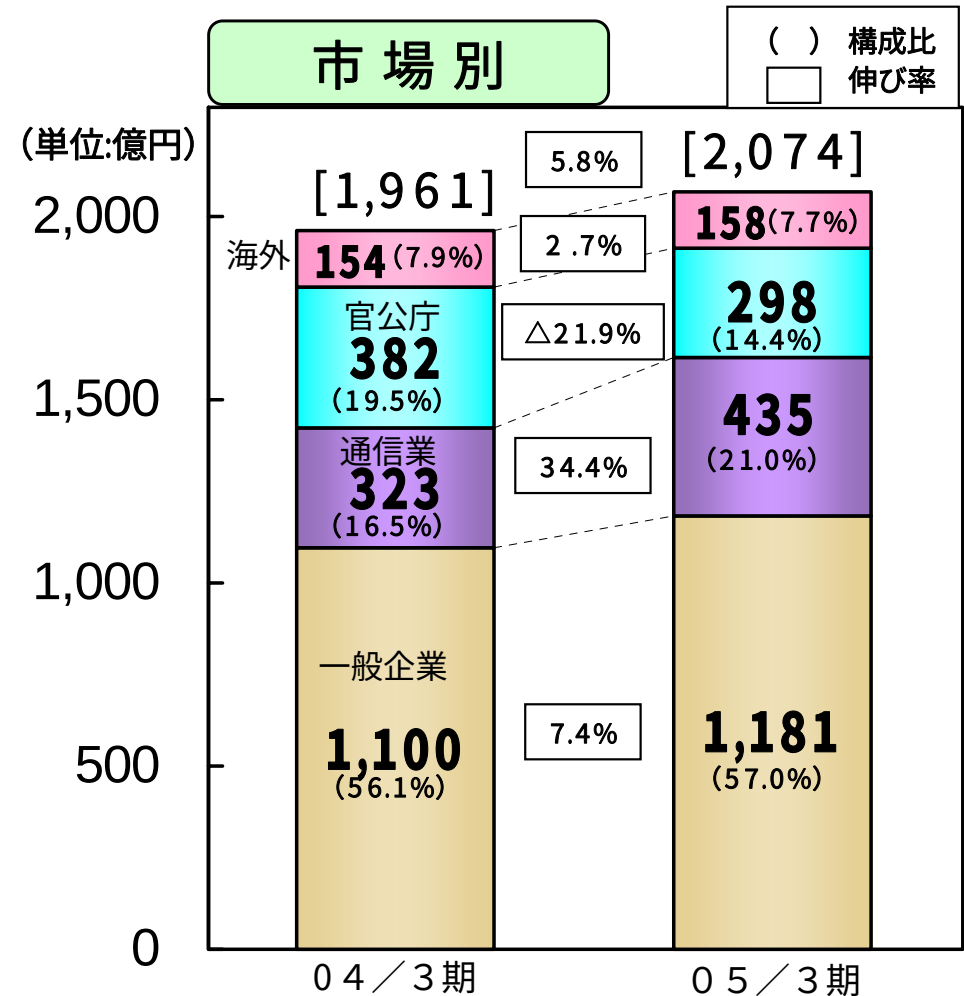
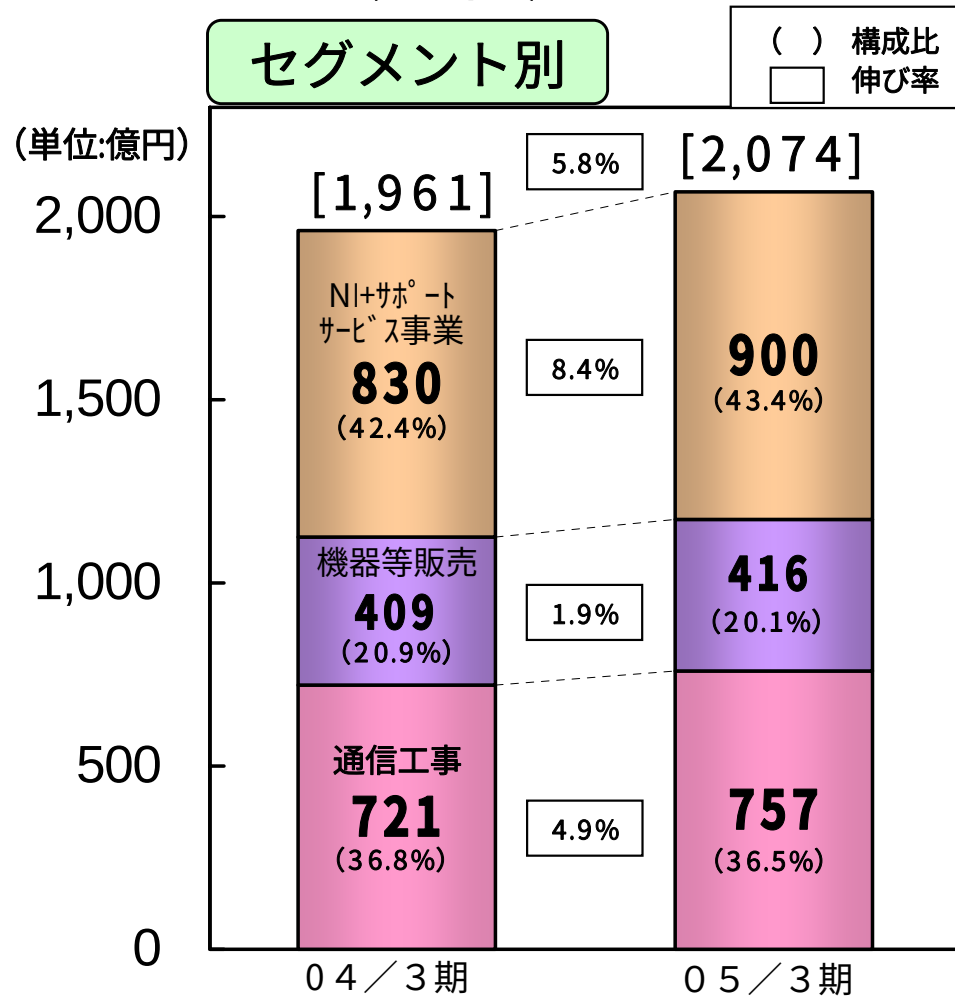
1. 2005年3月期 決算概要

受注活動を積極的に展開したことにより、通信業、一般企業向けが堅調に推移し、計画値を達成。

- ・ N I ・サポートサービス事業は、一般企業向けNW構築や通信事業者向け支援業務が堅調に推移したことにより増加。
- ・ 通信工事事業は、通信事業者およびCATV事業者向けNWインフラ構築が増加。

※N I：ネットワークインテグレーション

●受注高（連結）



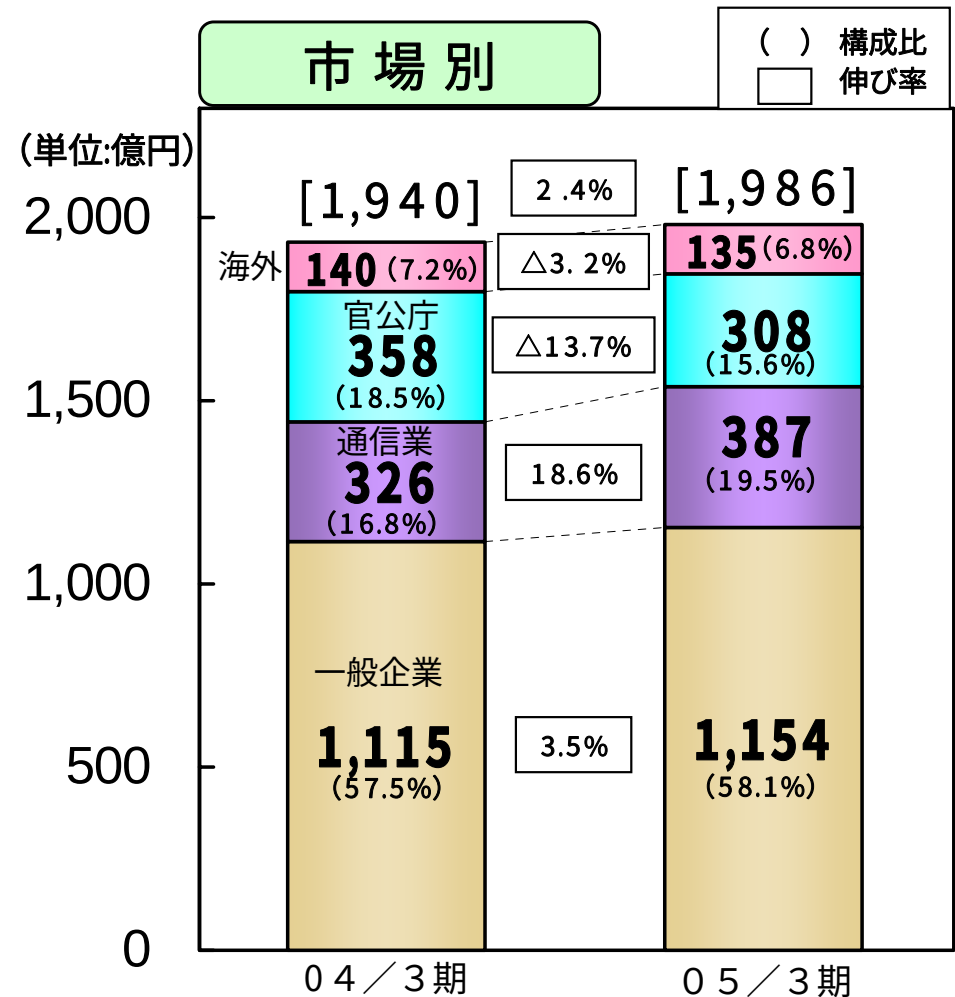
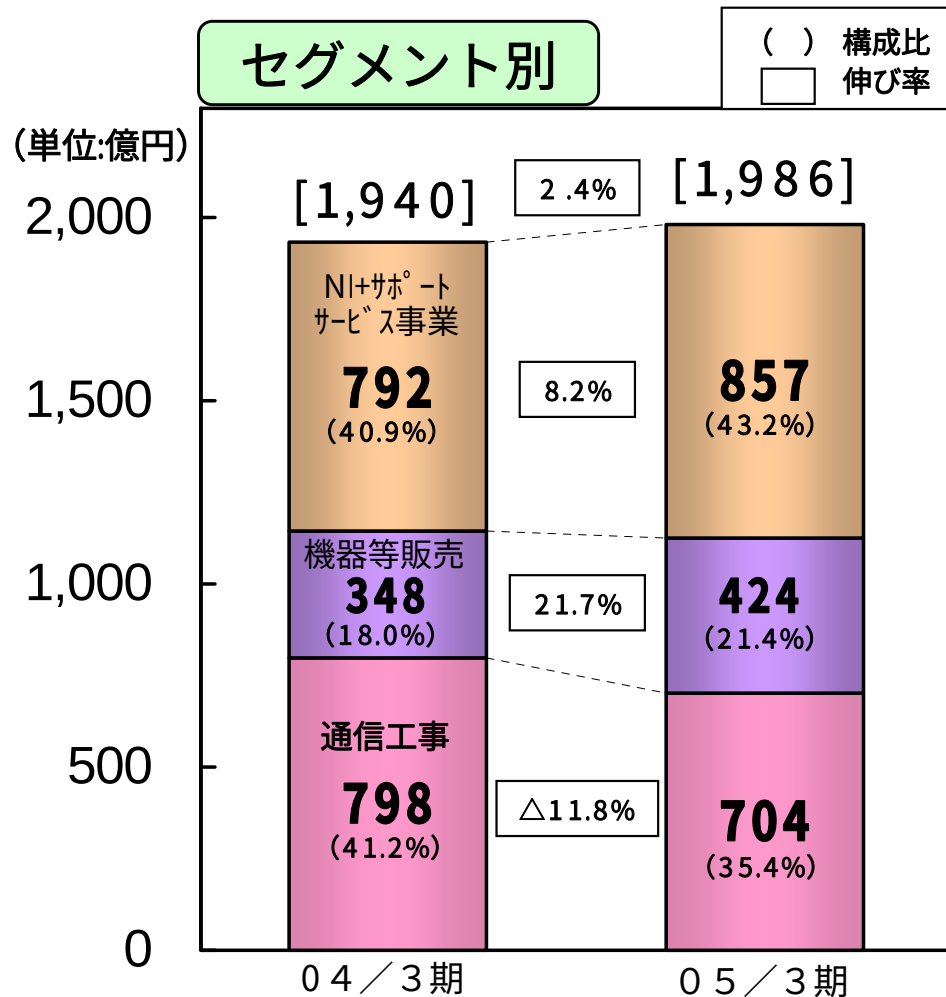
1. 2005年3月期 決算概要

国内民需向けNW構築の増加が、自治体向けなどの通信工事の減少をカバーし、計画値を達成。

- ・NI・サポートサービス事業は、受注同様、国内民需向けNW構築が堅調に推移したことにより増加。
- ・通信工事業は、受注は増加したものの、当期売上への貢献が少なかったことにより減少。
- ・機器等販売事業は、前期受注の大型物件の影響により増加。

※NI：ネットワークインテグレーション

●売上高（連結）



1. 2005年3月期 決算概要

損益計算書（連結）

（ ）は売上比

（単位：百万円）

	0 4 年 3 月 期	0 5 年 3 月 期	増減率	0 5 年 3 月 期 【計画値】	計画比 増減率
受 注 高	196,123	207,460	5.8 %	206,000	0.7 %
売 上 高	194,012 (100.0%)	198,625 (100.0%)	2.4 %	198,000 (100.0%)	0.3 %
営 業 利 益	4,419 (2.3%)	4,812 (2.4%)	8.9 %	4,800 (2.4%)	0.3 %
経 常 利 益	4,376 (2.3%)	4,750 (2.4%)	8.6 %	4,700 (2.4%)	1.1 %
当 期 純 利 益	500 (0.3%)	1,222 (0.6%)	144.0 %	1,130 (0.6%)	8.1 %

2005年3月期にて、退職給付債務の償却（約130億円を5年償却）が完了

セグメント別売上高総利益率（連結）

業容	04／3期 (実績)	05／3期 (実績)	増 減
NI・サポートサービス事業	14.3%	14.1%	△0.2%
通信工事事業	10.8%	12.0%	1.2%
機器等販売事業	5.0%	2.8%	△2.2%
全 社	11.2%	10.9%	△0.3%

配当予想の修正について

2005年3月期の期末配当予想を以下の通り変更いたします。

	1株あたりの年間配当金		
		中間	期末
	円 銭	円 銭	円 銭
修正前	10.00	5.00	5.00
修正後	12.00	5.00	7.00

2006年3月期の配当予想

	1株あたりの年間配当金		
		中間	期末
	円 銭	円 銭	円 銭
平成18年3月期	14.00	7.00	7.00

貸借対照表 (連結)

(単位：百万円)

	2004年 3月末	構成比	2005年 3月末	構成比
流動資産	97,334	82.2%	102,537	82.7%
固定資産	21,081	17.8%	21,397	17.3%
流動負債	54,533	46.0%	58,103	46.9%
固定負債	12,394	10.5%	13,584	11.0%
負債合計	66,927	56.5%	71,687	57.9%
少数株主持分	516	0.5%	543	0.4%
資本合計	50,971	43.0%	51,704	41.7%
資産合計	118,416	100.0%	123,935	100.0%

II. 2006年3月期の業績見通し

(単位：億円)

項 目	05年3月期 (実績)	06年3月期 (計画)	増減率
売 上 高	1,986	2,100	5.7%
営 業 利 益	48	48	△0.3%
経 常 利 益	47	47	△1.1%

市場見通し

◆一般企業

- ・ VoIP化やセキュリティ強化などネットワーク関連投資は引き続き堅調

◆通信事業者

- ・ 移動体通信設備投資は堅調
 - 通話品質向上対策（エリア拡大）の継続
 - ボーダフォンの国内戦略に注視
 - 新規参入事業者の動向に注目
- ・ IPサービス拡充への投資は継続（主に固定系）

◆自治体・官公庁

- ・ 当面は回復を期待できず
- ・ 防災関連は堅調（災害対策強化を目的としたシステムの高度化）

事業環境見通し

◆NI・サポートサービス分野

- ・ VoIP、セキュリティ、モバイルオフィスの進展
- ・ サポートサービスはネットワークのアウトソーシングやキャリアの保守等が堅調に推移
- ・ 鉄道会社向けシステム（駅務システムなど）やシステム工材などのニッチ分野に注目

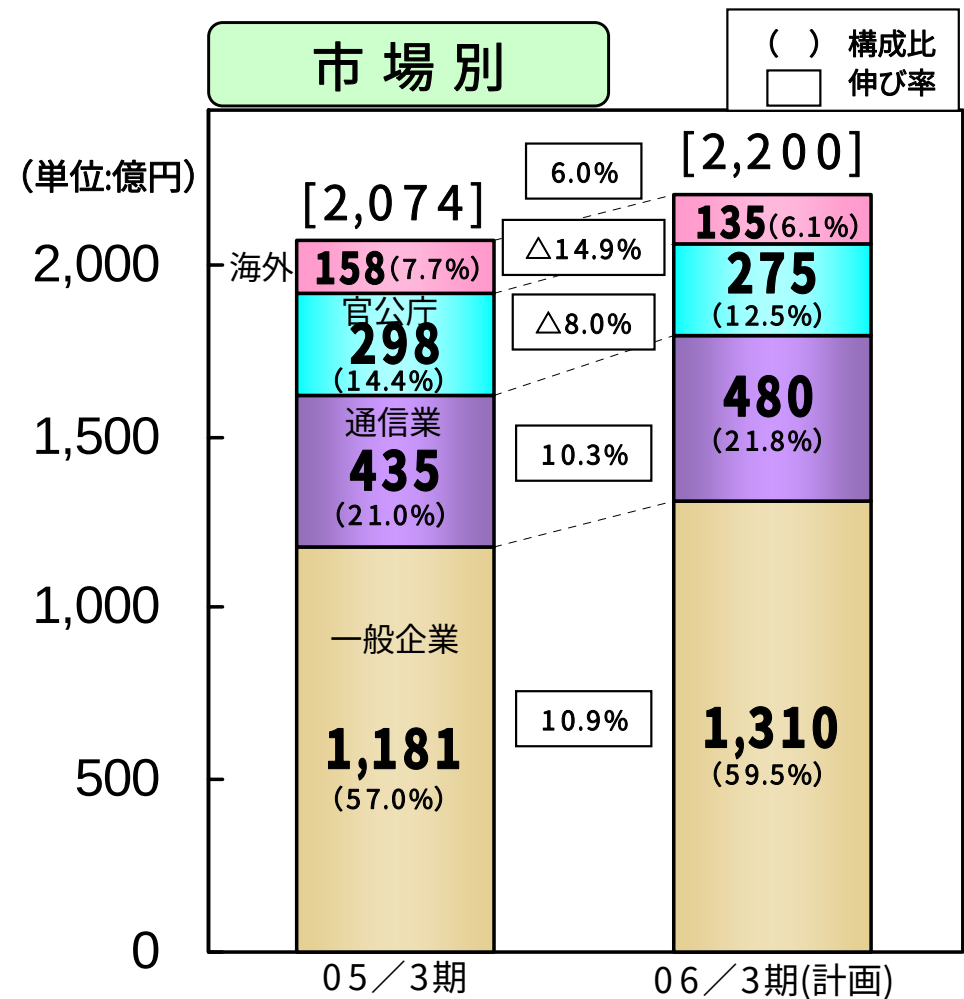
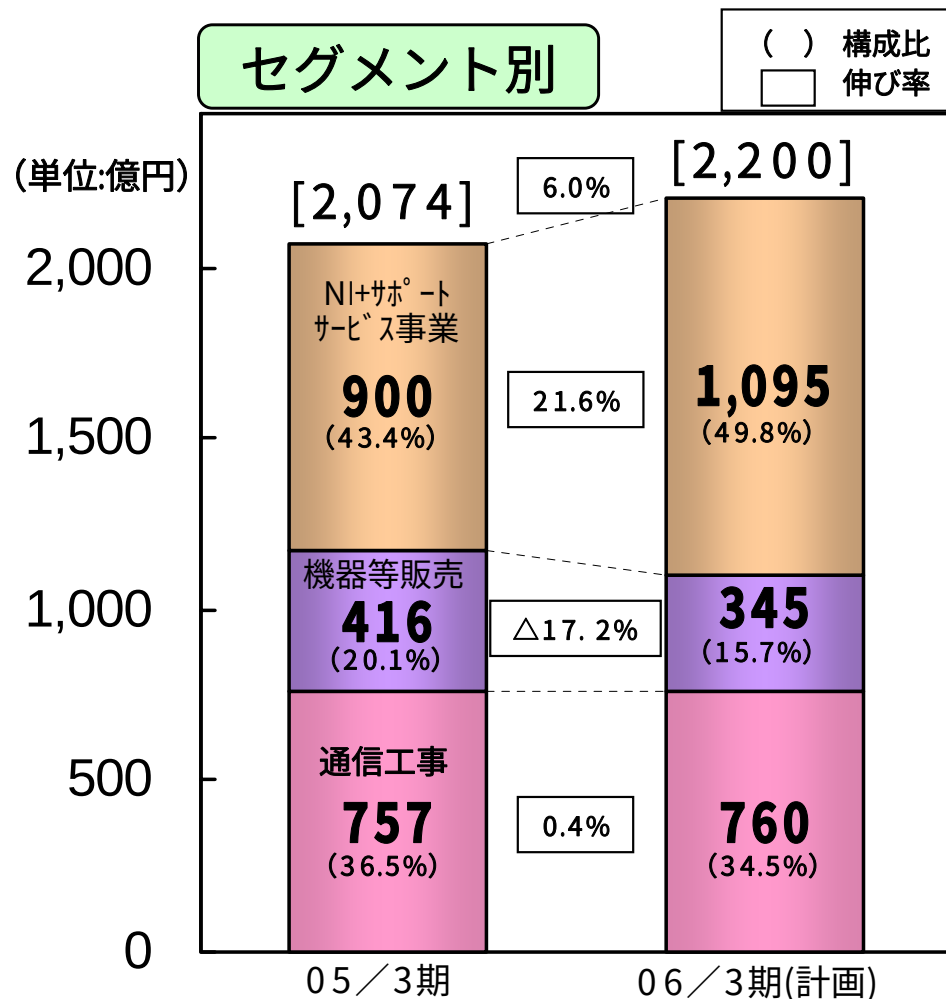
◆通信工事分野

- ・ 国内：通信事業者は固定系、移動系を含め設備投資が回復基調へ
- ・ 海外：当面は回復を見込めず
（各国の環境を注視し慎重に対応）

II. 2006年3月期 通期業績見通し

- ・NI・サポートサービス事業は、東洋通信機(株)からの事業承継に伴い増加。国内民需向けのNW構築やそれに伴うアウトソーシングの導入などのサポートサービスが堅調。
- ・通信工事事業は、通信事業者向け基幹NW構築等が増加。前期大型物件の反動の影響により微増。
- ・機器等販売事業は、金融業などの新規システム関連が減少。

●受注高（連結）

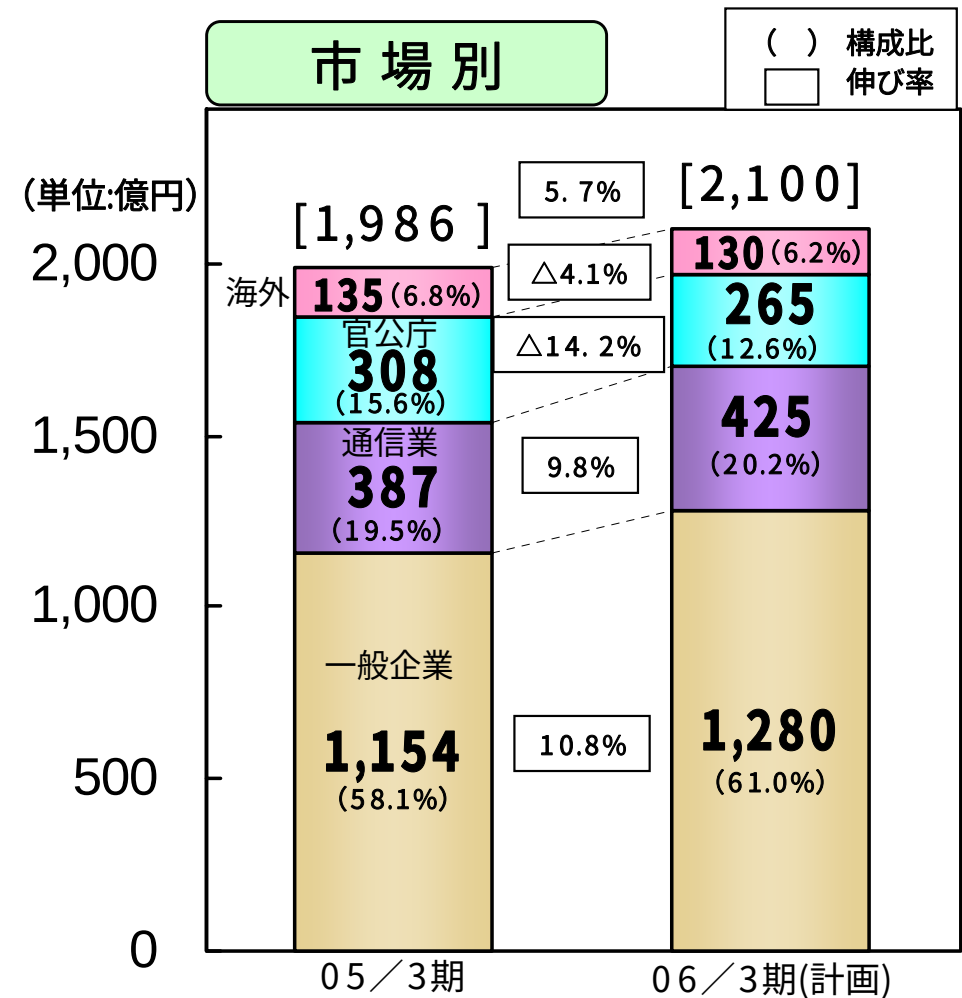
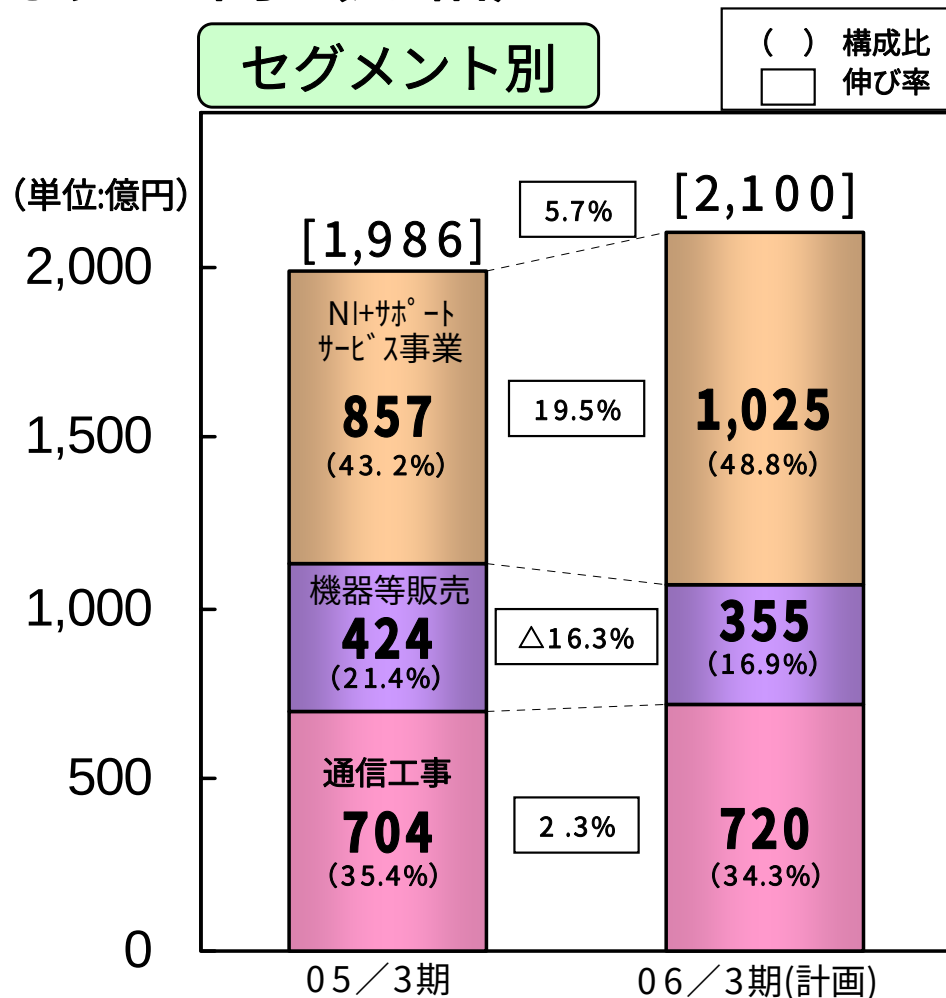


※NI・サポートサービス事業には、TNSの承継事業およびシステム工材関連含む

II. 2006年3月期 通期業績見通し

- ・NI・サポートサービス事業は、東洋通信機(株)からの事業承継に伴い増加。
受注同様、国内民需向けNW構築やそれに伴うアウトソーシングの導入などサポートサービスが堅調。
- ・通信工事事業については、国内では通信事業者や放送業向けが増加。
- ・機器等販売事業は、金融業などの新規システム関連が減少。

●売上高（連結）



※NI・サポートサービス事業には、TNSの承継事業およびシステム工材関連含む

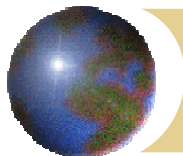
●損益計算書（連結）

（単位：百万円）

項 目	0 5 年 3 月 期 (実績)	0 6 年 3 月 期 (計画)	増減率
受 注 高	207,460	220,000	6.0%
売 上 高	198,625	210,000	5.7%
営 業 利 益	4,812	4,800	△0.3%
経 常 利 益	4,750	4,700	△1.1%
当 期 純 利 益	1,222	1,840	50.6%

セグメント別売上高総利益率（連結）

業容	05/3期 (実績)	06/3期 (計画)	増 減
NI・サポートサービス事業	14.1%	13.4%	△0.7%
通信工事事業	12.0%	12.0%	0.0%
機器等販売事業	2.8%	2.8%	0.0%
全 社	10.9%	11.1%	0.2%



重点方針

1. ニッチ事業強化・立ち上げ

→当社ノウハウを活かした独自システム開発や独自サービス
投入によるニッチマーケットを中心とした新たな市場の開拓

2. NECおよびNECグループとの連携によるN I 事業強化

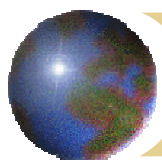
3. コスト削減の更なる徹底

→コンカレントエンジニアリングや競争購買による資材費低減
標準化ならびに施工技術の革新への取り組み強化
人的効率向上や経費効率化の推進によるコスト競争力の強化

事例紹介

(最近の注力分野)

- IPテレフォニー分野
- セキュリティ分野
- ニッチ市場への取り組み
(システム工材)

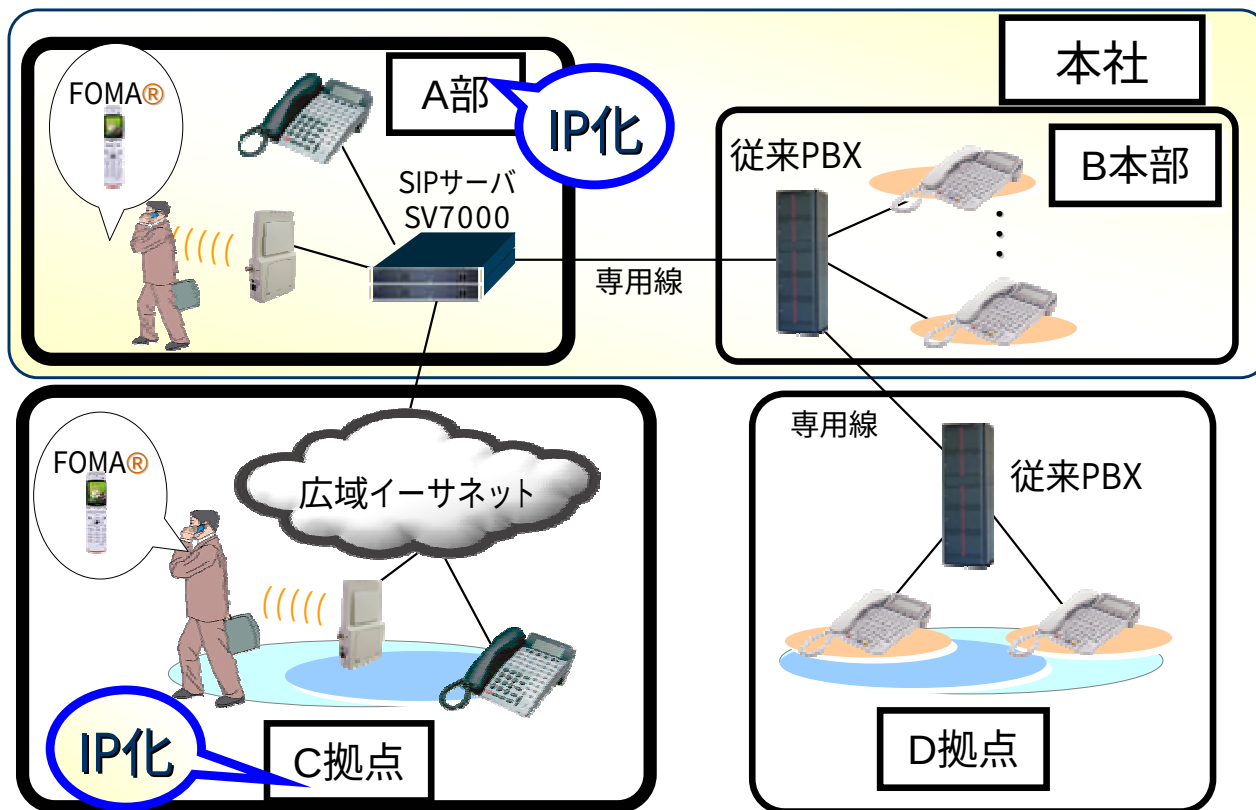


IPテレフォニー分野の取り組み

NEC製UNIVERGEシリーズの拡販

- ① FOMA®連携によるIPテレフォニーソリューション
- ② お客様ニーズに沿った段階的IP化（既存システムとの併用によるマイグレーション）
→ UNIVERGEシステムを組み込んだパッケージソリューションを展開

マイグレーション（段階的IP化）のイメージ



マイグレーションの流れ

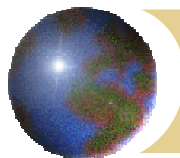
部門、フロア単位でIPテレフォニーを導入。他部門等は既存システムのまま。
※既設システムとIPを共存させる

未導入部門も、既設PBXの更新時期や予算承認など、お客様のニーズに応じて段階的にIPテレフォニー化

将来的にはフルIP化

〔IPテレフォニー化の進捗にあわせ、
既設システムは撤去〕

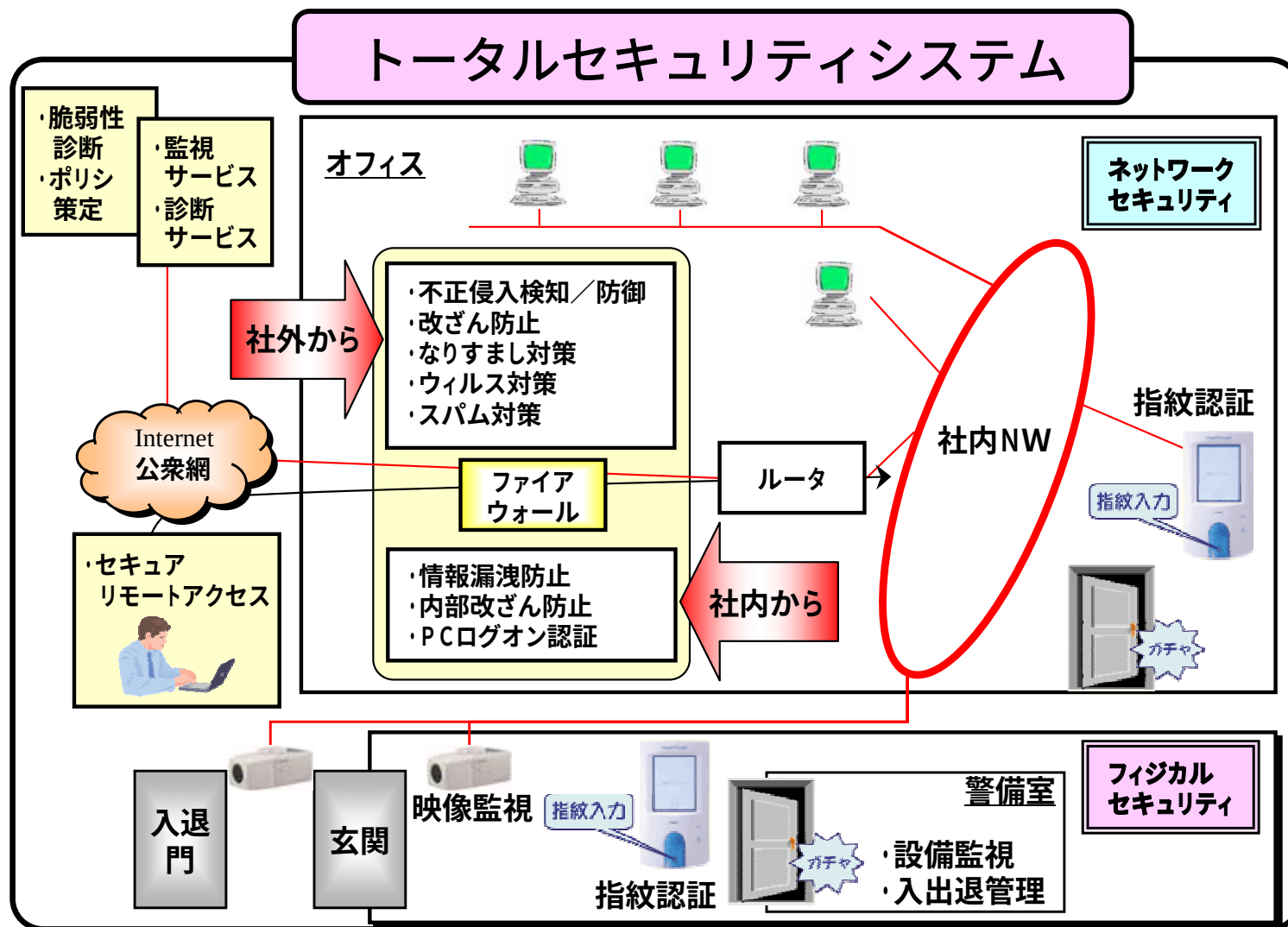
マイグレーションが当社の強みを発揮できる領域
→ 音声技術を有する (IPと既存システムとの併用)

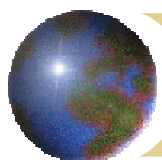


セキュリティ分野の取り組み

トータルセキュリティシステムの展開

NECネットワークの運用・監視で培ったノウハウをベースに、ネットワークセキュリティから監視システム等の物理的セキュリティまでトータルに対応。





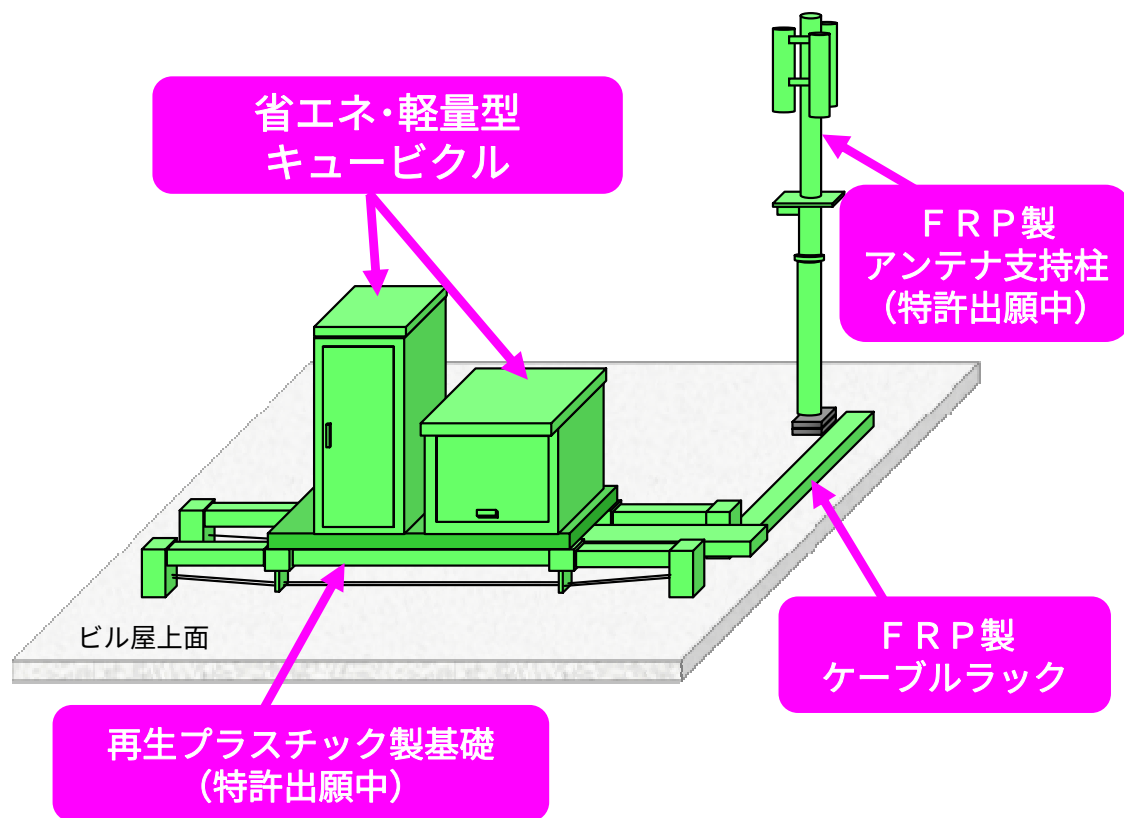
ニッチ市場への取り組み (システム工材)

FRPアンテナ支持柱の事業化 [04年度実績：3億円
05年度売上目標：15億円]

省エネ・軽量型キュービクルの事業化開始

※FRP：繊維強化プラスチック。Fiberglass Reinforced Plasticの略
ガラス繊維にポリエステル樹脂を何層にも浸み込ませた合成樹脂

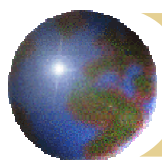
※キュービクル：移動体基地局用の通信機器や電源設備等を収容するための筐体



特 長

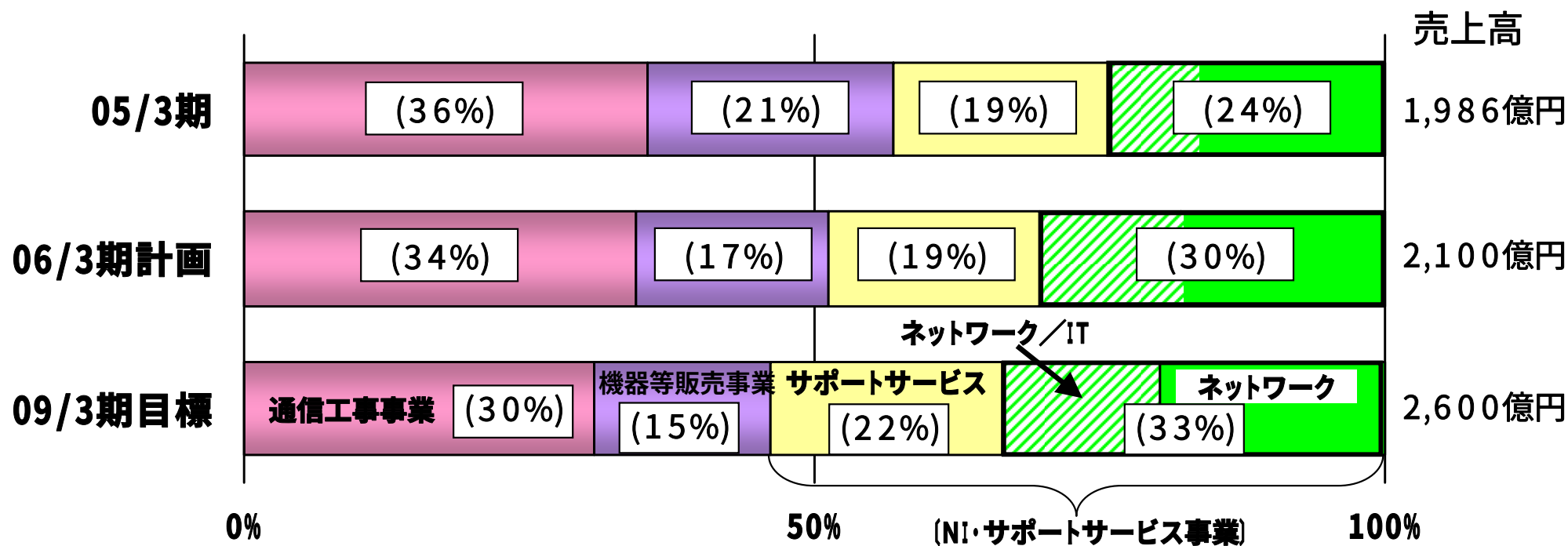
- ◆超軽量化
 - ・クレーンを使用せずに
省力、低騒音施工を実現
 - ・設置後の建物への負荷を軽減
- ◆環境対策(再利用可能な素材)
 - ・廃棄物を削減
 - ・CO₂排出量を削減
[省エネ：熱交換機能
リサイクル：再生可能な素材]
- ◆総コスト削減

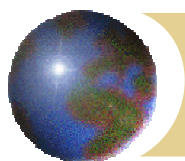
III. 中期目標



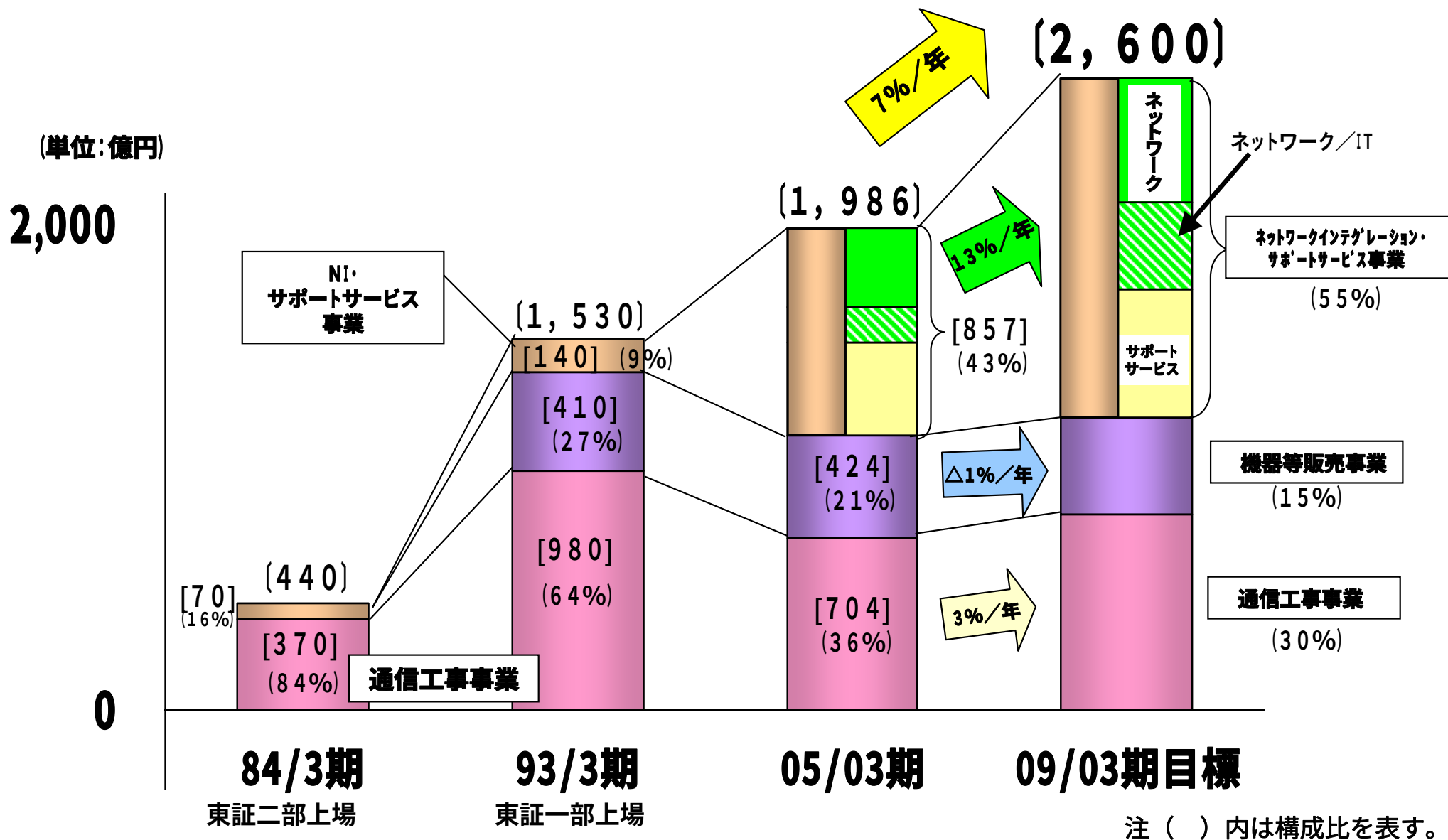
中期目標 (2008年度・連結)

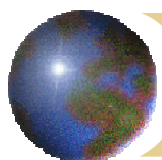
- 売上高 : 2,600億円
(’04→’08 年平均伸び率 : 7%)
- 営業利益 : 倍増(96億円)を目指す





<参考>売上高推移





強化施策

ネットワークおよびネットワーク／ITを重点的に事業強化

当社のコアコンピタンス

俊敏かつ有機的な連携活動
＝コアコンピタンス

①全国対応営業力

- ・ 53拠点

②システムインテグレーション力

- ・ 設計、工事
- ・ プロジェクトマネジメント資格保有者国内トップクラス

③ソフトウェア開発力

- ・ 移動系・固定系パブリックネットワーク
- ・ 企業ネットワーク
- ・ 公共ネットワーク
- ・ モバイルソフトウェア 等

④全国保守対応力

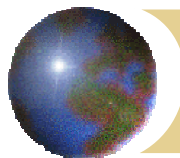
- ・ 保守 ……約200拠点
- “ネットワーク保守分野で国内最大”

プラットフォーム
(NEC/他ベンダー)

強化施策

1. 独自開発システムでニッチ市場を開拓
2. NECおよびNECグループとの連携による事業強化
3. 営業力・SI力・保守対応力をバランス良く強化
4. 事業構造改革の強化・推進

IV. 商号変更および TNS承継について



商号変更について (10月1日実施予定)

日本電気システム建設株式会社

(英文名: NEC System Integration & Construction, Ltd.)



NEC ネットズエスアイ株式会社

(英文名: NEC Networks & System Integration Corporation)

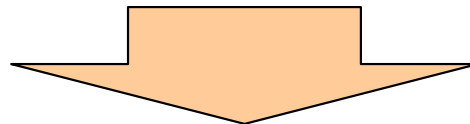
これに伴い国内関係会社商号も変更になります。

「NEC ネットズエスアイ」の「ネット」とは「Networks」の略語で、種々のネットワークシステムをあらわしており、システムの統合や、将来に向けての発展も意味しています。

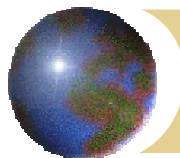
また、「エスアイ」はシステムインテグレーション（通信工事を含む）の略語で、お客様の利用目的にあわせて多種多様のネットワーク、ハードウェア、ソフトウェアなどを組み合わせ、最適のシステムを構築するという意味です。

よって、「ネットズエスアイ」とは、『当社が従来からの得意分野であるネットワークシステムを発展させ、さらにIT技術などを付加し、お客様のニーズにあわせ、様々なシステムインテグレーションを提供する』というイメージを表します。

変更実施予定日：2005年10月1日（関係会社2社も同時）



近い将来、「情報・通信」セクターへの変更を目指す



TNS承継について (東洋通信機(株)より)

承継する新会社の概要 (6月1日承継予定)

- (1) 商 号 : 東洋ネットワークシステムズ株式会社 (以下、T N S)
- (2) 事 業 内 容 : P L C (※1) や C W D M (※2) 等のネットワークシステム関連および
紙幣識別装置や自動券売機等のマネーハント[®] リング 関連
- (3) 資 本 金 : 400百万円
- (4) 従 業 員 数 : 約360人 (連結)

承継事業の直近の業績

- ・ 売上高 : 113億円 (単体) (2004年3月期)

※1 P L C : 宅内電灯線や配電線を利用した高速通信システム。
既存の配線を利用するため、宅内や企業向けの L A N やアクセス回線が
安価で容易に構築できる。

※2 C W D M : 低密度型の W D M で、1本の光ファイバで波長の異なる複数の光信号を多重化
して同時に伝送できるシステム。
大量の波長を多重化できる D W D M に比べ、コストが安く短距離の伝送
に向いているため、地形が複雑な地域や都市部での光ファイバ網構築に向いている

技術的シナジー

ネットワーク／IT分野で
新しいサービスの創造

NECシステム建設グループの強み

システムインテグレーション

ネットワーク
インテグレーション
ソフトウェア開発
サポートサービス
アウトソーシング

TNSの強み

ハードウェアテクノロジー

PLC（電力線通信装置）
CWDM（低密度型WDM装置）
自動券売機
紙幣識別関連機器

シナジー効果

バイオメトリクス技術
電子マネー技術
ICタグ技術
ユビキタス技術

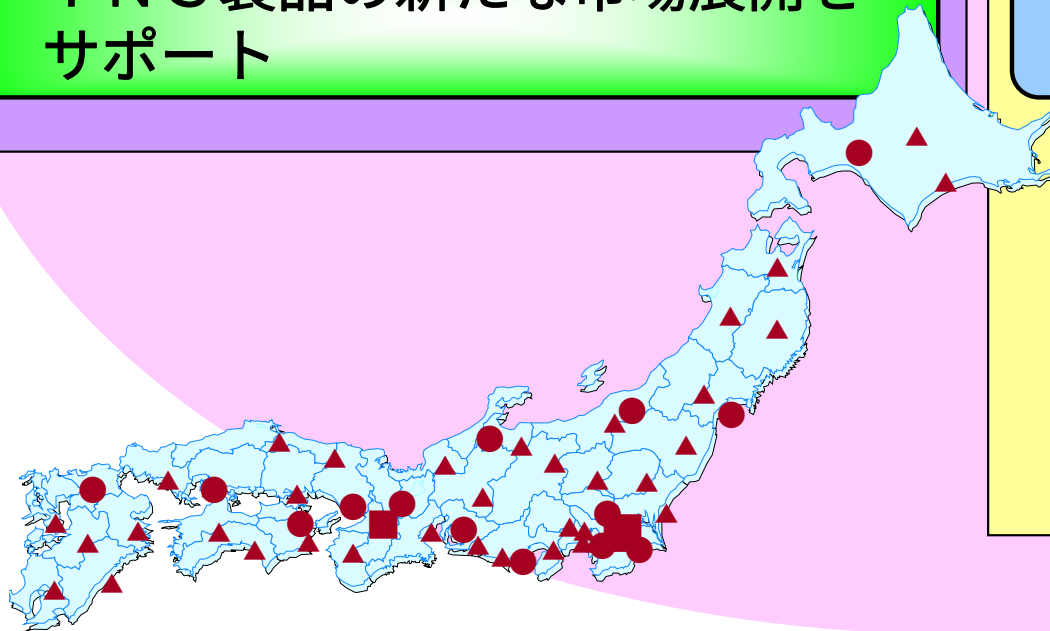
営業活動およびサポートサービス分野におけるシナジー

営業活動

- NECシステム建設グループの国内約50ヶ所の営業拠点網の活用
- TNS製品の新たな市場展開をサポート

サポートサービス分野

- NECシステム建設グループの国内約200ヶ所の保守サービス拠点網の活用
- TNS製品ご愛用のお客様にも、きめ細かなサービス提供が可能



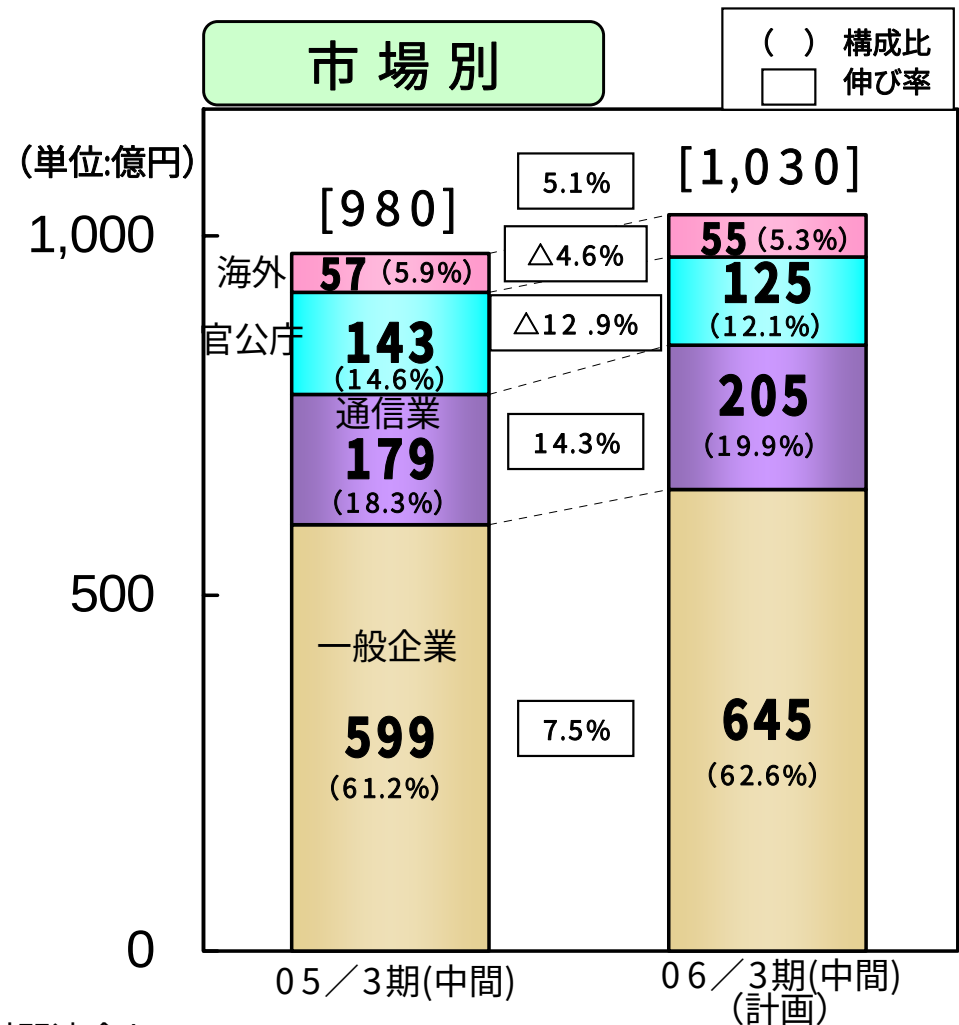
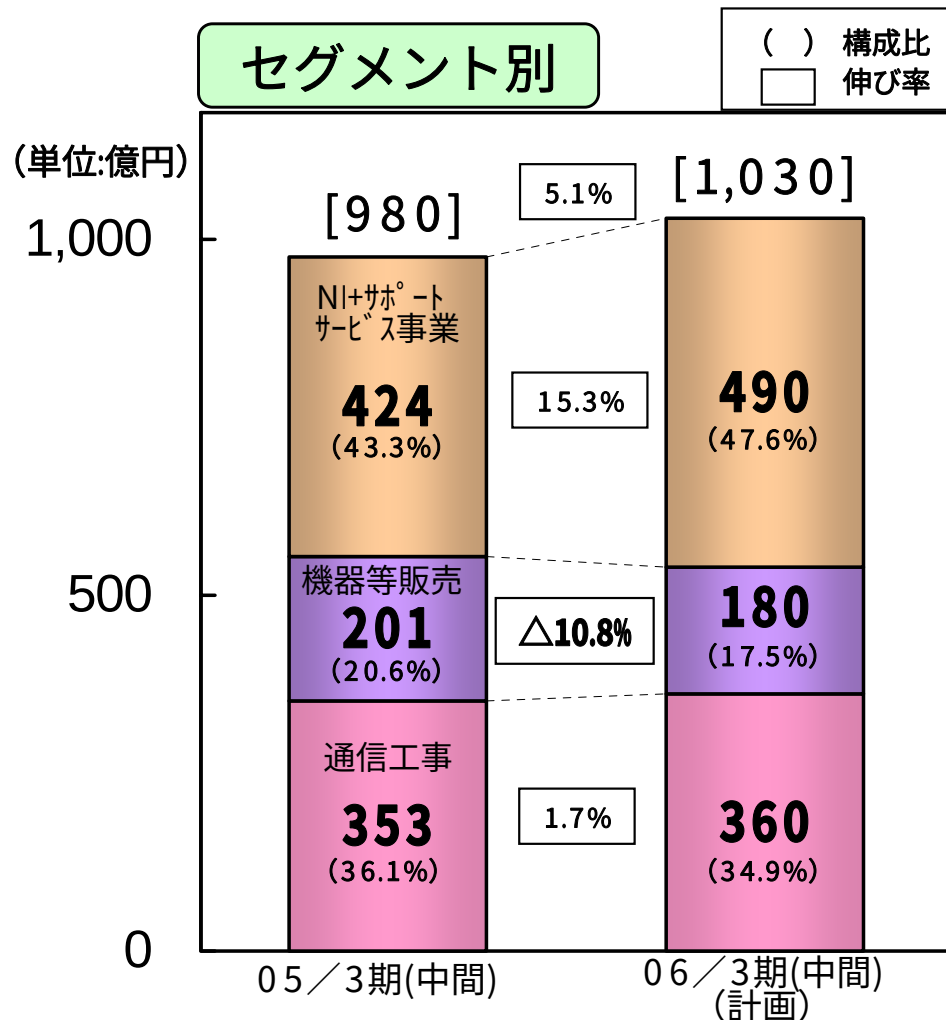
24時間
365日

地域密着型
サービス

＜ご参考＞ 2006年3月期 計画（上期）

- ・NI・サポートサービス事業は、東洋通信機(株)からの事業承継に伴い増加。
国内民需向けNW構築やそれに伴いアウトソーシングの導入などサポートサービスが堅調。
- ・通信工事業は、通信事業者向け基幹NW構築が増加。
- ・機器等販売事業は、金融業などの新規システム関連が減少

●受注高 (連結)

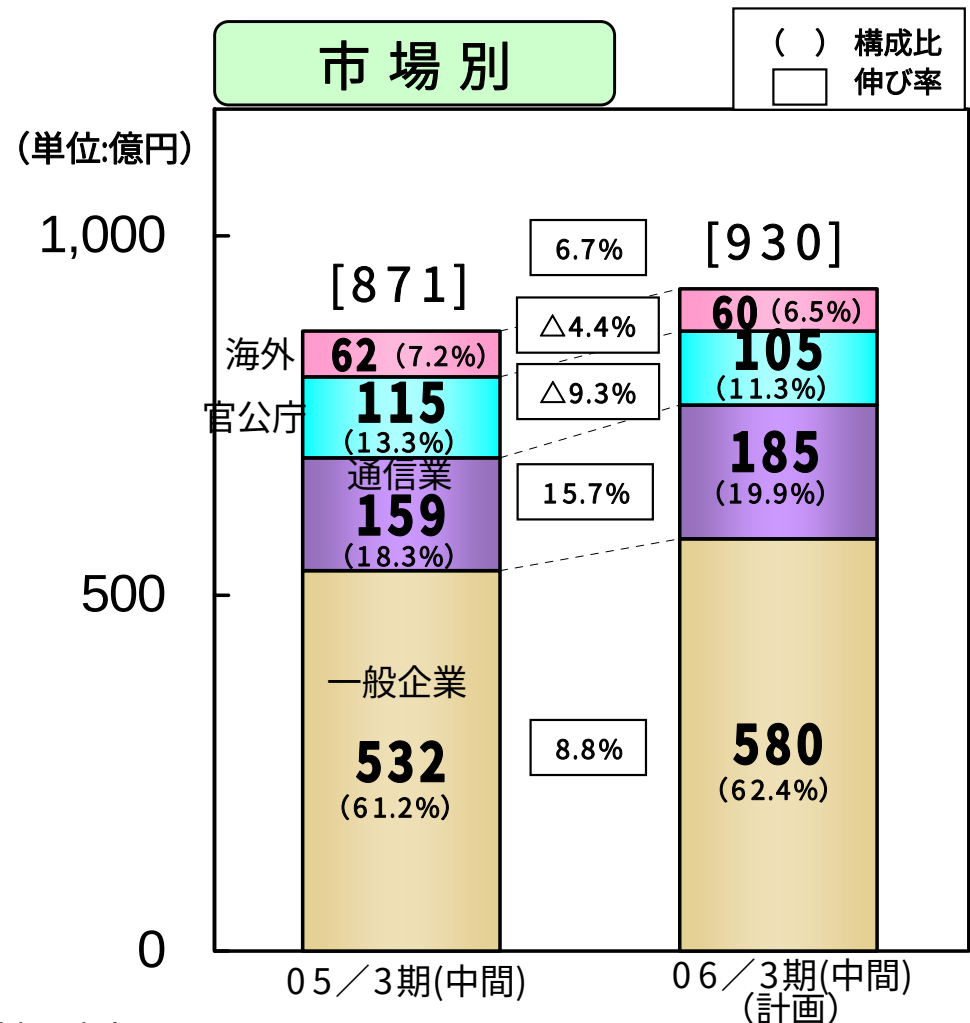
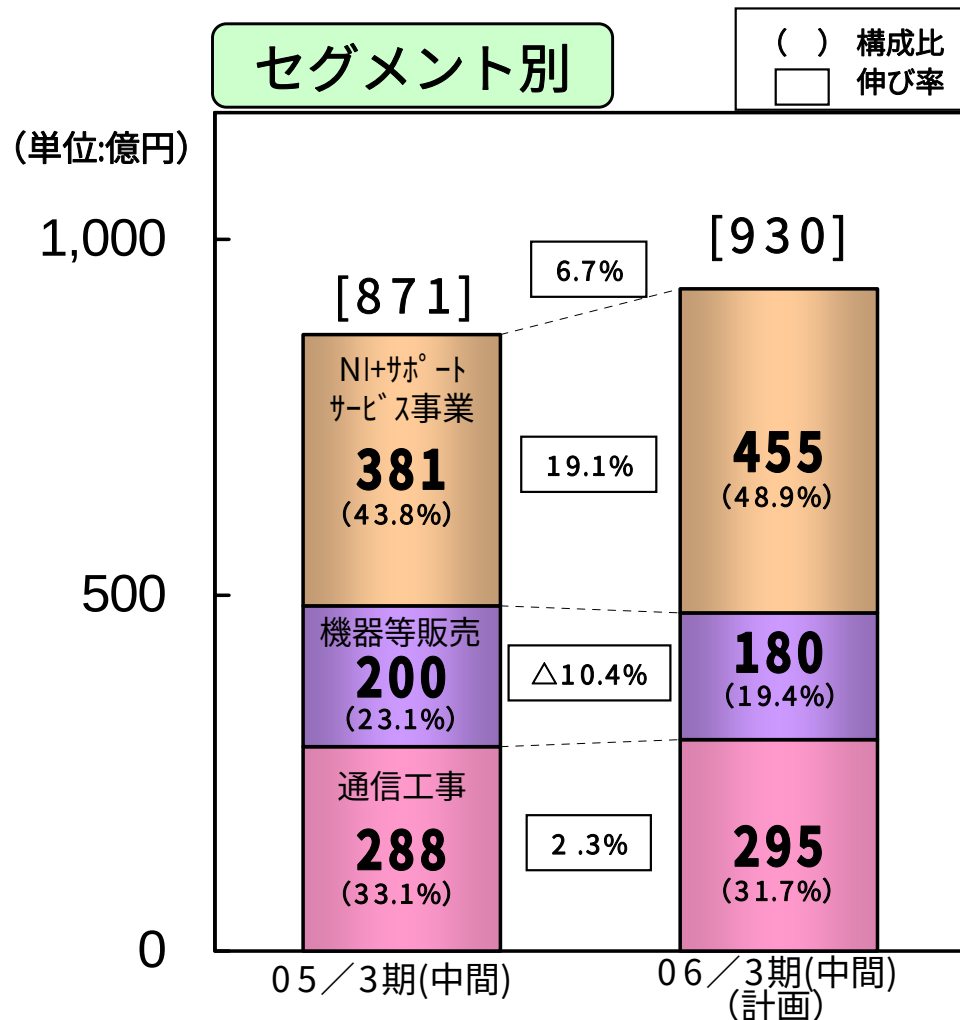


※NI・サポートサービス事業には、TNSの承継事業およびシステム工材関連含む

2006年3月期
通期業績見通し（上期）

- ・NI・サポートサービス事業は、東洋通信機(株)からの事業承継に伴い増加。
受注同様、国内民需向けNW構築やそれに伴いアウトソーシングの導入などサポートサービスが堅調。
- ・通信工事業については、国内では通信事業者や放送業向けが増加するものの、海外向けが減少。
- ・機器等販売事業は、金融業などの新規システム関連が減少

●売上高（連結）



※NI・サポートサービス事業には、TNSの承継事業およびシステム工材関連含む

●損益計算書（連結）

（単位：百万円）

項 目	0 5 年 3 月 期 （上期実績）	0 6 年 3 月 期 （上期計画）	増減率
受 注 高	98,037	103,000	5.1%
売 上 高	87,132	93,000	6.7%
営 業 利 益	1,781	1,750	△1.7%
経 常 利 益	1,779	1,700	△4.5%
当 期 純 利 益	251	530	110.7%

本資料についてのご注意

本資料（「2005年3月期 決算説明会資料」）に記載されている将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であって、実際の業績は様々な要因により記載の内容とは異なる結果となる可能性がある事を予めご承知願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業環境を取り巻く経済情勢・社会的動向、当社の提供するシステムやサービスに対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に与えうる重要な要因は、これらに限定されるものではありません。